

## 安全委員会より

安全委員会委員長  
 佐藤克徳常務取締役

### 安全衛生・品質協議会報告

6月25日（火）に本社3Fにて2019年度安全衛生・品質協議会を開催しました。今年協賛会社6社より11名、ピアサービス社員合わせ28名の参加となりました。前回はあだよりにてご案内した転落事故に対する転落事故懸念箇所の把握、安全対策、また今年度2月1日より法改正された高所作業による安全対策等の各会社の対応講習の受講状況等の情報共有を行いました。安全衛生目標である「労働者災害・第三者災害ゼロ」を目指し、今年はその重点施策として「危険予知対策を率先と行い、業務災害や事故を防止する」を掲げました。作業前には危険予知をし、正しい手順と動作を確認し、作業の切替や予定変更時には手順を再確認するよう心掛けてください。無理な作業、無理な体勢、無理な時間配分は禁物です。今年の夏も猛暑が予想されますが、くれぐれも熱中症には注意して健康管理を行ってくださいね。それではご安全に！



## 品質委員会より

品質委員会委員長  
 坂本秀人課長

### 日常清掃の気づき「ドア枠に溜まる汚れ」

写真はトイレの出入り口のドア枠に溜まった汚れです。

日常清掃の作業の中でトイレ清掃は欠かせない場所で「衛生陶器、洗面台、鏡、床面・・・」と言った場所は毎日念入りに清掃していただいていると思います。見落としがちな場所がドアや個室ブースの間仕切りだと思えます。

下写真のようにホコリが黒く溜まってしまっていて、せっかく衛生陶器や洗面台が綺麗に洗浄されていても出入口のドア枠にホコリがあると残念に見えてしまいます。清掃中は目線が下がって下方向に注意が行ってしまいますが、入室退室の際に少し目線を上げてみて下さい。写真のように汚れている場合は、フラワークリーンでサッと拭くだけでホコリを除去する事ができます。こういう場所の汚れは毎日清掃しなくても1週間や2週間に1回の拭き清掃で十分に美観の維持ができます。トイレに限らず同じようになっている場所を見つけた場合は、管理担当者へ連絡して対応方法を相談して下さい。宜しくお願い致します。



## 改善提案委員会より

改善提案委員会委員長  
 大田英之取締役

### 平成30年度表彰者のご紹介

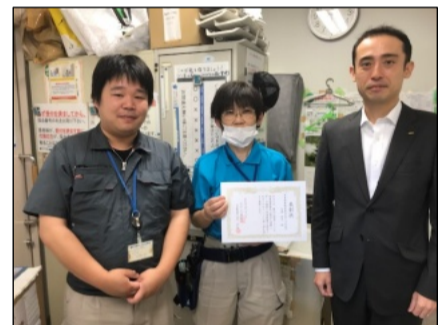
**現場最多賞**  
 合計24件の提案をしていただきました神戸市垂水区にお勤めされている皆様です。（写真一番上左上から長田さん、杉原さん、谷口さん、小林さん、社長、左下から戸梶さん、影浦さん）こちらのスタッフは、仕事に対する積極的な提案が多いばかりではなく、皆のまとまりがよく、笑顔の絶えない現場です。



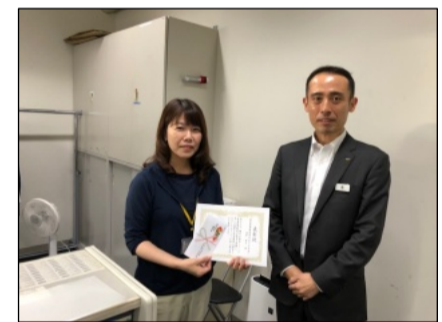
**個人最多賞**  
 合計24件も提出していただきました、明石にお勤めの高橋和子スタッフです（写真上から2番目）。高橋スタッフは毎年、多くの改善提案を提供して下さり、自分達で積極的に実施しており、作業のし易い環境作りを行ってくれています。



**優秀提案賞**  
 1人目の受賞者は、土山にお勤めの天満寿子スタッフです（写真上から3番目）。天満スタッフはさまざまな収納の改善だけではなく、不要になった資材を改修したうえで作業効率を向上に貢献してくれました。



2人目の受賞者は、神戸市西区にお勤めの福井泰子スタッフです（写真上から4番目）。福井スタッフは積極的に新しい目線で現場を見ることで、さまざまな改善余地が現れ、お客様と一緒に取り組んだことが良い結果に繋がりました。



最後の受賞者は、明石にお勤めの池田政司スタッフです（写真1番下）。池田スタッフは業務の改善だけではなく、お客様目線の改善（お客様に喜ばれる提案）を積極的に行った結果、当社の売上の貢献にも繋がりました。



## 感謝状案内

管理部  
 森本直樹

### 神戸市西区K社

取引先である神戸市西区のK社様より、6/14にスタッフ3名（写真左より川端和子さん、西山レツ子さん、臼杵カズ子さん）が感謝状を頂きました。



お客様より、日々の日常清掃業務において高評価を頂き表彰されました。毎日の清掃作業に対する姿勢や挨拶をはじめとするマナー面等、お客様へ心地良いサービスの提供ができていたことへの嬉しい評価（感謝状）だと思います。これを励みにこれからもお客様の期待に応えられるよう、現場・本社スタッフ共に頑張ってお参ります。3名の方々ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

2019年7月25日  
ピアサービス株式会社  
代表取締役社長 岸本伊知郎

令和1年6月25日、ピアサービス本社3階会議室において、多数の協力会社様ご参加のもと令和1年安全衛生大会（安全衛生・品質管理協議会）が開催されました。

「令和1年安全衛生大会 社長あいさつより」

本日は、安全衛生・品質管理協議会にお集まり頂き、誠に有難うございます。  
また、平素より弊社の事業活動に対し格別のご支援、ご協力を賜り改めて御礼を申し上げます。

私からは、先日同業ビルメン会社の会報誌で紹介された「躰(しつけ)の三原則」について私が感じたお話をさせて頂きたいと思っております。  
この言葉は私が好きな森信三先生の言葉で、会報誌では「積極的に生きる、凡人成功の哲学」の一節にて紹介されています。  
森先生は明治生まれ、先生を目指す師範学校教員であり、後の教育を目指す方々にとってはバイブル的な考えを残された方（授業レポートが、纏められ書籍になっています）であり、ご存知の方も多いと思われそうですが、改めて、、、、。

初めに皆さまに3つの質問です。  
今朝、出掛けに「行ってきます！」と挨拶して家を出られたでしょうか？  
普段、夫婦間の会話でお互いにしっかり「はい」と返事をしていらっしゃるでしょうか？  
奥様に無視されたりしてませんか？  
普段、自分のデスクの椅子や履物をしっかり揃えておられますか？

何を聞いてんねんと思われるかも知れませんが、統計上「行ってきます」と言って出掛ける方の通勤・通学での事故率はそうでない方よりも低いそうです。  
また、夫婦間での会話でしっかり「はい」と返事しあっている家庭の子供は不登校になりやすく、さらに不登校を治す方法と勧められています。  
そして3番目の椅子・履物をしっかり揃える習慣ができている家庭の子供は学校の学力・スポーツの成績は軒並み高いという結果もあります。

これは躰(しつけ)の三原則 挨拶 返事 後始末 について、近年の学校関係者のレポートを引用した内容でございますが、躰(しつけ)の三原則という習慣を噛み砕いて説明すると合点がいくと思っております。

挨拶とは、一般的に人間関係の潤滑油のようなもので、挨拶ができるという事は、周囲の人々に気を配れ、相手を尊重する気持ちがあるから出来る事です。  
「はい」と返事ができるという事は、人間の意地や張りを捨てる事ができ、相手の話をきちんと聞ける姿勢が出来ており、何でも吸収し成長する事が出来ます。  
このような親の姿に子供は影響をうけます。  
整理整頓が出来るという事は、生活そのものが変わります。だらだらした生活をしていた人が、けじめのある、てきぱきとした行動をとるようになり、乱れた生活が引き締まり、学業に取り組み、やる気のない子がやる気を出すようになるという事です。

森信三先生によれば、この三つが、人間の生き方の基本であり、基本があれば他の躰(しつけ)は自ずと出来るようになるかと仰っています。挨拶・返事・整理整頓、小学生の道徳で習う簡単な習慣ですが、普段よりしっかり実践できているか自分でも不安になりますよね、、、。

実際、実践できていなくても目に見えて損をする事はないです。ですが躰(しつけ)の三原則の習慣について焦点をあてると、冒頭の会報誌内容の「凡人成功の哲学」にも紹介されているのですが、人間として必要不可欠な事柄にみえてきます。

人の生き方・幸せに繋がる習慣(勿論、選ばれる会社になる習慣とも理解出来ます)、身近な所では普段の生活・仕事の安全対策にも生きてくる大切な習慣になります。

皆様の幸せな人生のエッセンスとして、改めて実践して頂けたらと思い「躰(しつけ)の三原則」をご紹介いたしました。ご清聴ありがとうございます。